

2021年3月期 決算説明会

1. 当期決算の概要(連結)
2. 次期業績見通し
3. 当社の経営戦略

2021年5月17日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<https://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics

 NIHON KOHDEN

はじめに) コンプライアンス事案 調査結果

2021年1月

調査委員会を設置

社外取締役2名、
外部の弁護士2名、
社内取締役2名の計6名

調査内容

- 関係者へのヒアリング、
デジタルフォレンジック調査
- 社員およびディーラーへのアンケート調査
- 取引・寄附事例の調査

2021年4月

調査結果を公表

- 組織的な不正行為の事実は
確認されず
- 同種事案は不見当
社内規定に基づき厳正に処分

原因分析 【機会】利益供与が誘発される環境と利益供与の原資の作出が容易なシステム

- ①医療機器業界の特殊性 ②値引きによる原資の作出 ③ディーラーの介在

【動機】目先の商談成立への欲求

- ①重要施設の他社更新商談 ②売上重視の土壌

【正当化】コンプライアンス体制の不備・問題の本質に対する理解不足

- ①取引停止など明確な指示の不足 ②自己の行為の正当化

多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます

はじめに) コンプライアンス事案 再発防止策

調査委員会からの提言を踏まえ、4月28日に再発防止策実行管理委員会を設置、以下の取り組みを早期・確実に実施

1. ガバナンスの強化

(1) 組織の見直し

- ・グローバル経営管理本部に「コンプライアンス・法務統括室」を設置(2021年4月)
- ・営業本部に「コンプライアンス推進室」を新設(2021年4月)
- ・支社支店
 - 管理部門を強化
 - コンプライアンス担当役員との報告ラインを強化

(2) 寄附金検討プロセスの見直し

- ・ウェブ申請方式を導入、営業部門から独立した審査機関を設置

(3) 内部統制の強化

- ・受注前プロセスにおけるシステム統制

(4) ディーラーとの相互牽制

- ・相互に法令遵守を誓約
- ・定期的なアンケート
- ・社外向け通報窓口の設置

2. 人事評価の見直し

- ・コンプライアンスの評価項目を設定

3. コンプライアンス教育の徹底

- ・支社支店
 - 管理職向け教育の充実
 - 具体的・実践的な研修内容の充実

4. モニタリング

- ・定期的なコンプライアンス意識調査
- ・内部通報窓口の周知徹底

1

当期決算の概要(連結)

1) 当期の取り組み

COVID-19感染対策

- 感染対策を徹底し、製品・サービスの供給を継続



- オンラインセミナー、教育プログラムの提供・拡充



緊急増産対策

- 国内外での需要拡大に伴い、年度末まで増産を継続

自社製人工呼吸器

販売台数 (2021年3月期)

NKV-330: 約1,000台

NKV-550: 約2,000台



成果

医療機器メーカーとしての供給責任を果たし、医療現場の支援を継続
生体情報モニタ、人工呼吸器の設置ベースが拡大

2) 当期の決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前期 2020/3	当期 2021/3				対前期 増減率(%)
		期初予想	2月2日修正	実績		
売上高	185,007	180,000	190,500	199,727	8.0	
国内売上高	134,355	126,200	129,000	137,274	2.2	
海外売上高	50,651	53,800	61,500	62,452	23.3	
売上総利益 (売上総利益率)	89,325 48.3%	87,200 48.4%	94,700 49.7%	102,233 51.2%	14.5	
営業利益 (営業利益率)	15,503 8.4%	14,000 7.8%	20,000 10.5%	27,094 13.6%	74.8	
経常利益	14,846	14,000	19,100	28,374	91.1	
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,854	10,000	11,800	18,243	85.1	

← 為替影響除く: +27%

自社品 売上比率	2020/3 65.6%	2021/3 69.5%
-------------	-----------------	-----------------

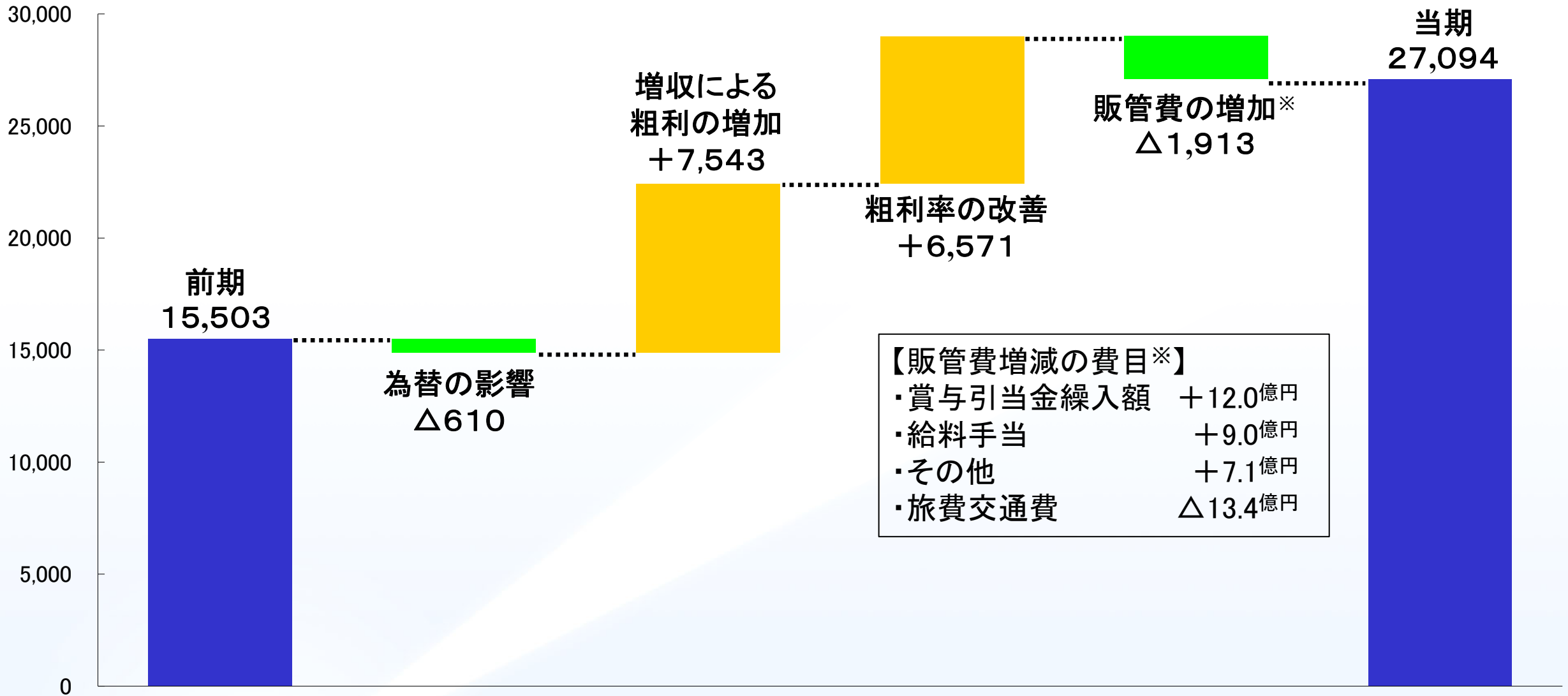
	2020/3	2021/3
← 為替差損益	差損973百万円	差益472百万円

← 【特別損失】 減損損失: のれん償却額:	2021/3 388百万円 1,185百万円
------------------------------	------------------------------

平均レート	(2020/3)	(2021/3)	(2021/3)	(2021/3)
1米ドル	109.1円	107円	106円	105.9円
1ユーロ	121.1円	117円	123円	123.1円

3) 営業利益増減の要因分析

(単位:百万円)

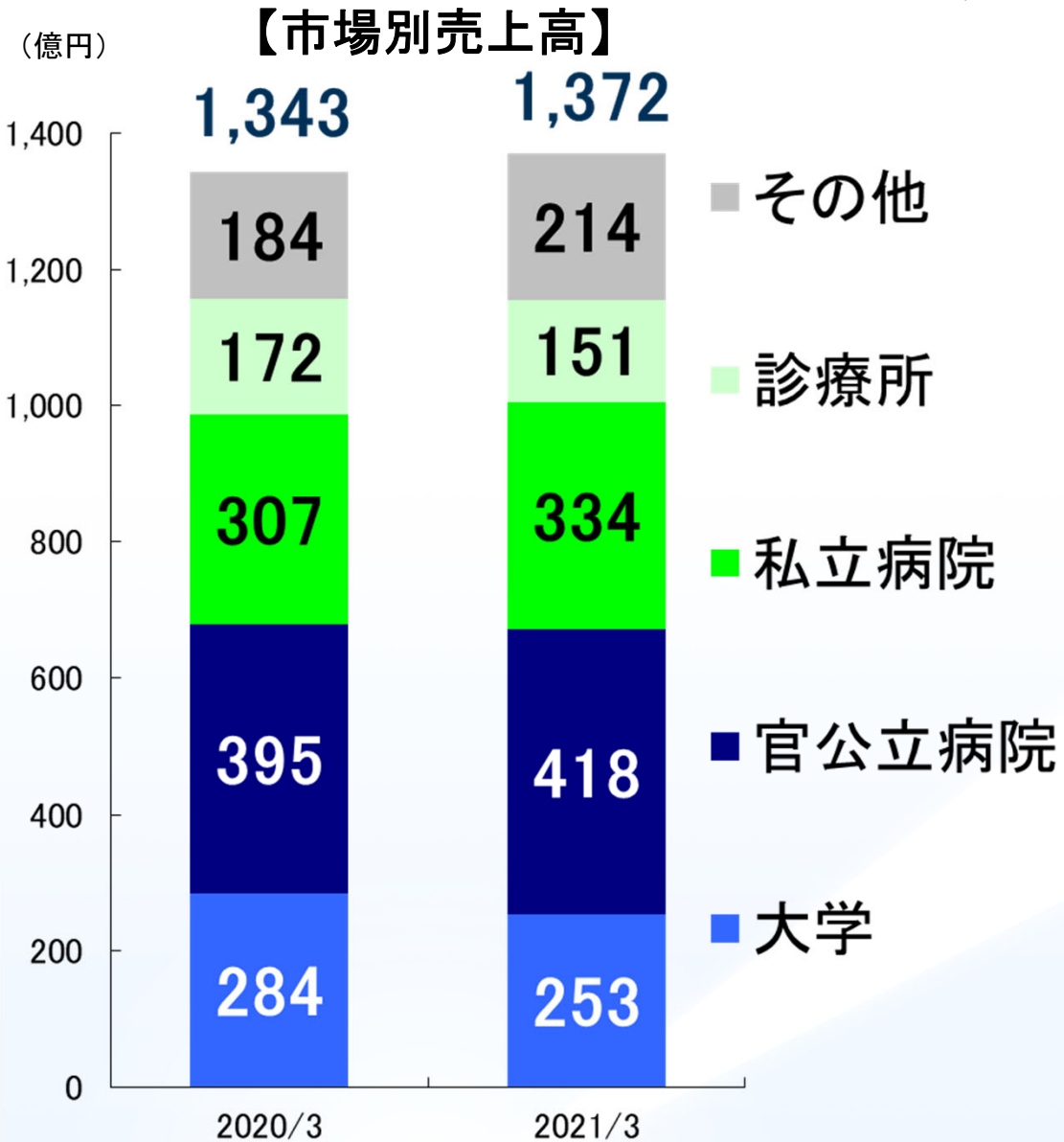


【販管費増減の費目*】

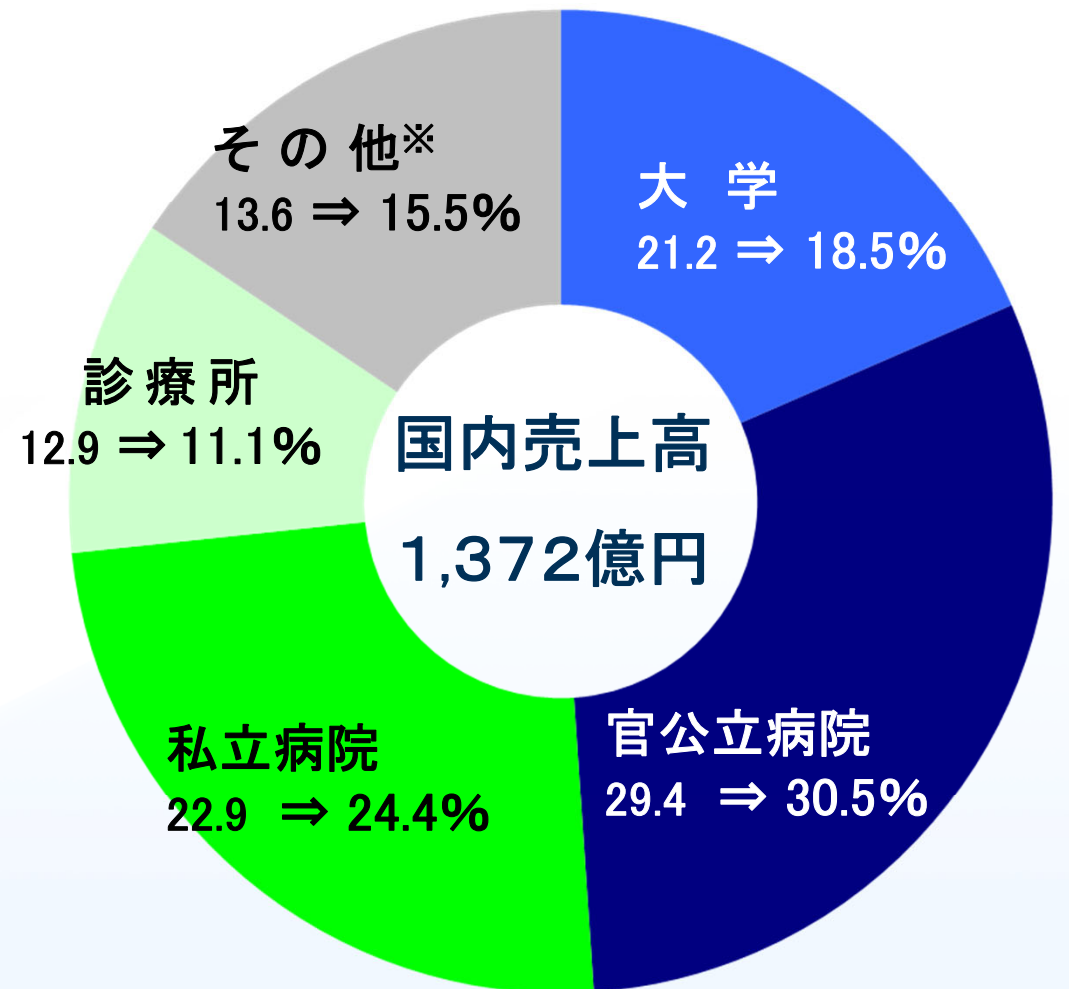
・賞与引当金繰入額	+12.0億円
・給料手当	+9.0億円
・その他	+7.1億円
・旅費交通費	△13.4億円

※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、
「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

4) 国内売上高



市場別売上構成比
(2020/3⇒2021/3)

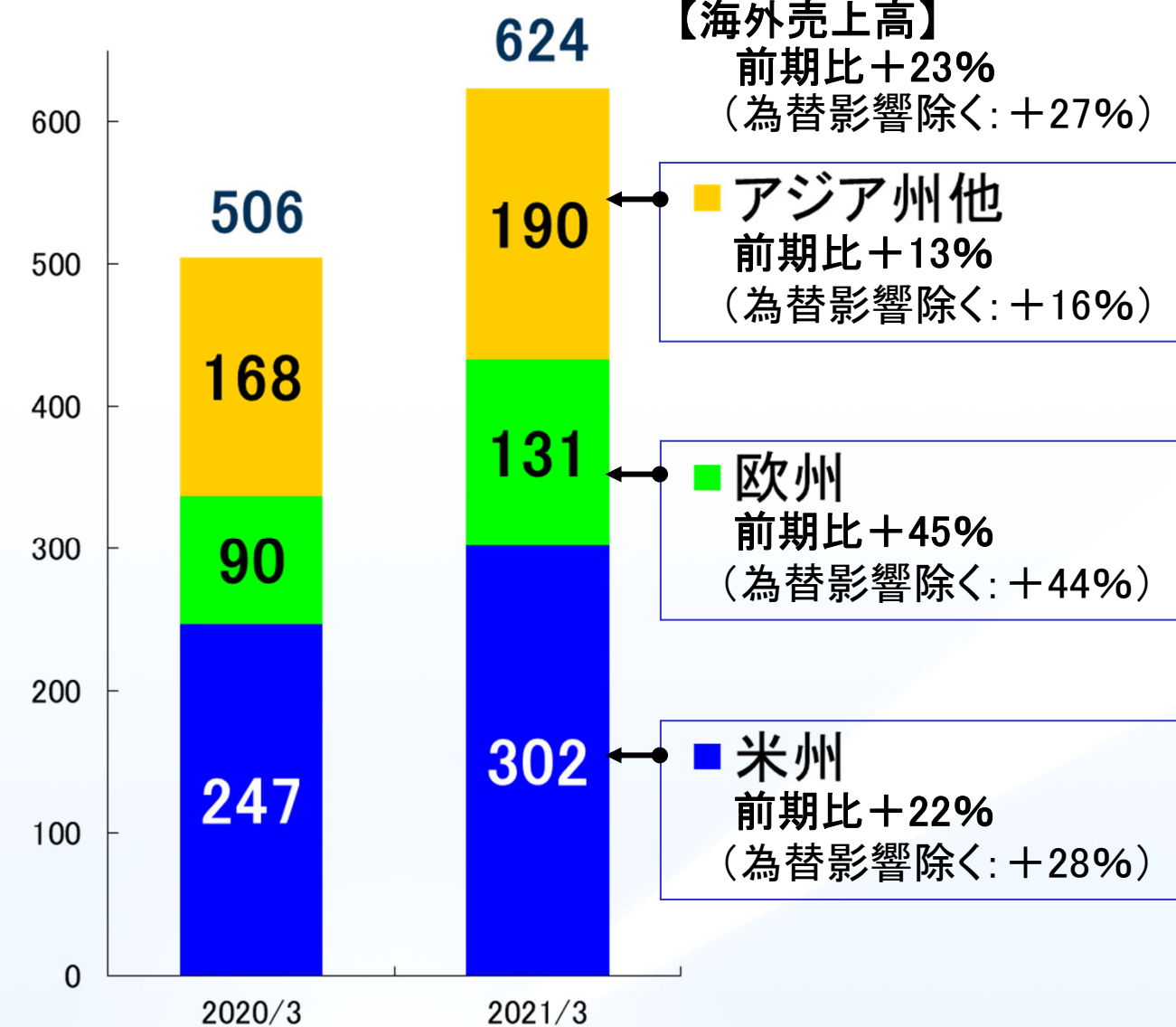


※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

5) 海外売上高

【地域別売上高】

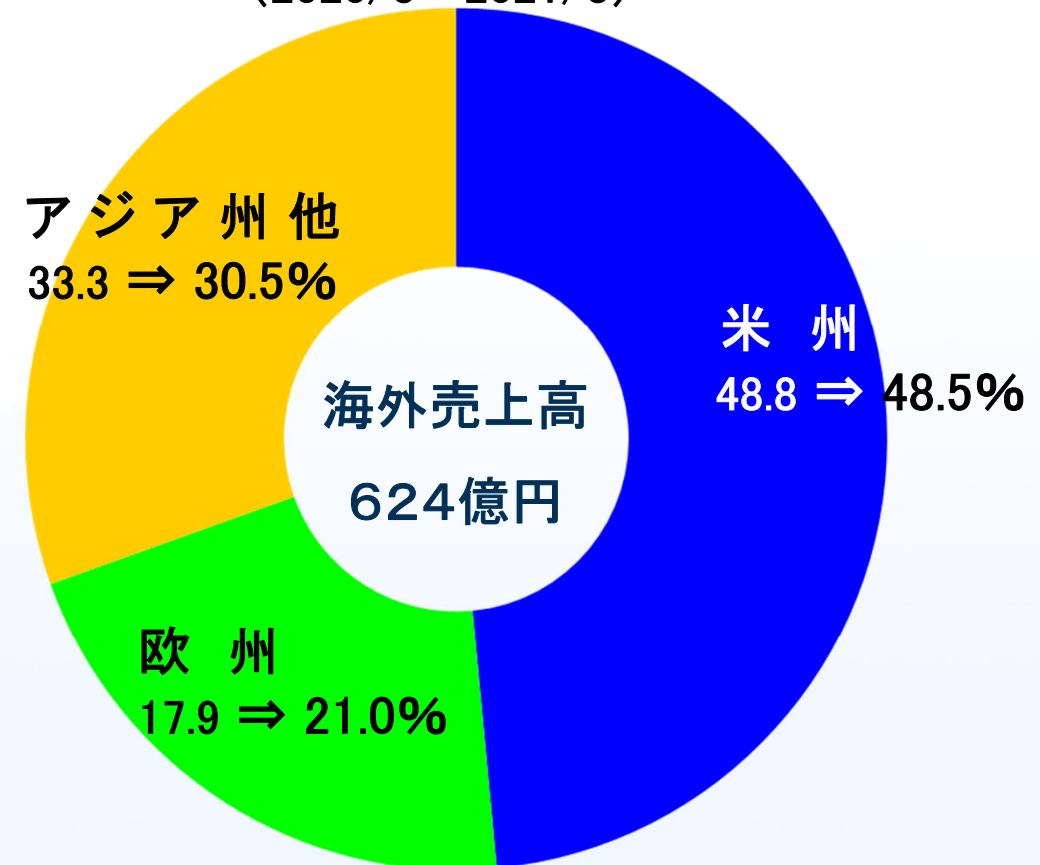
(億円)



海外売上高比率

2020/3	2021/3
27.4%	31.3%

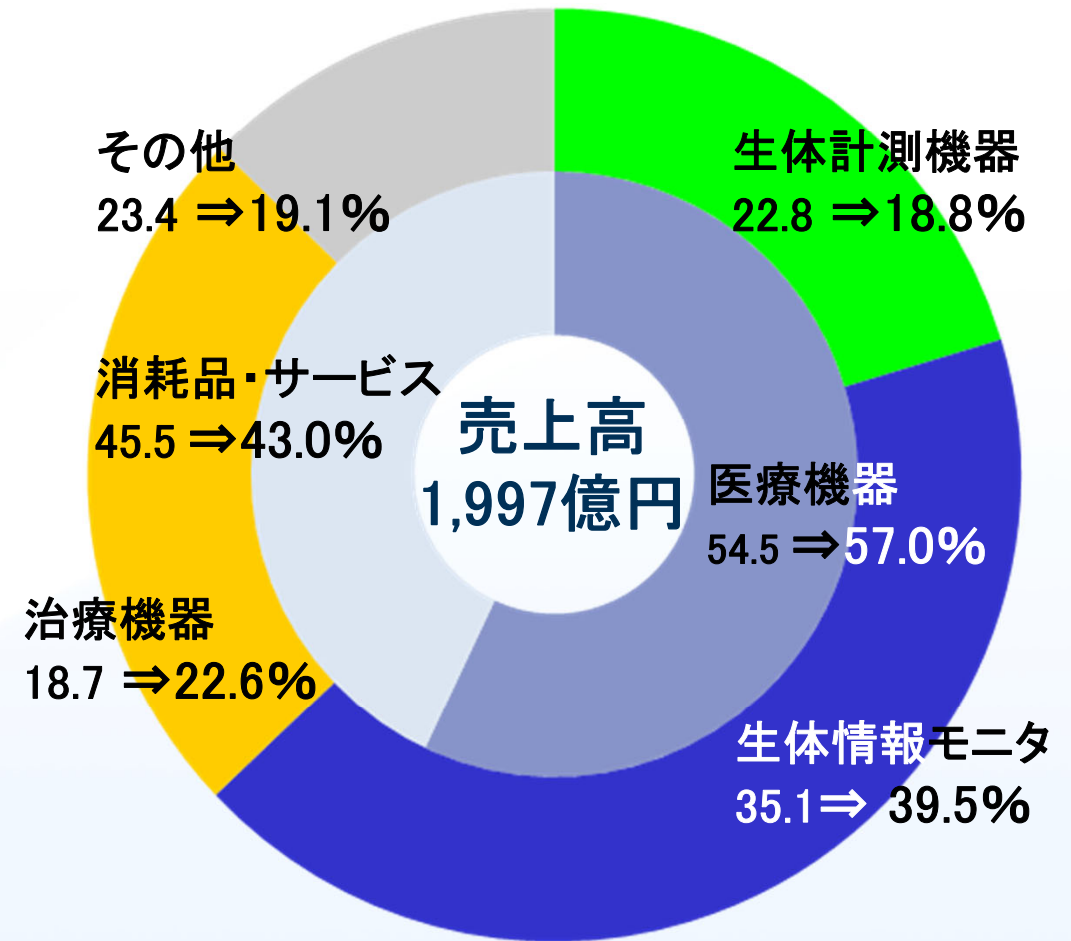
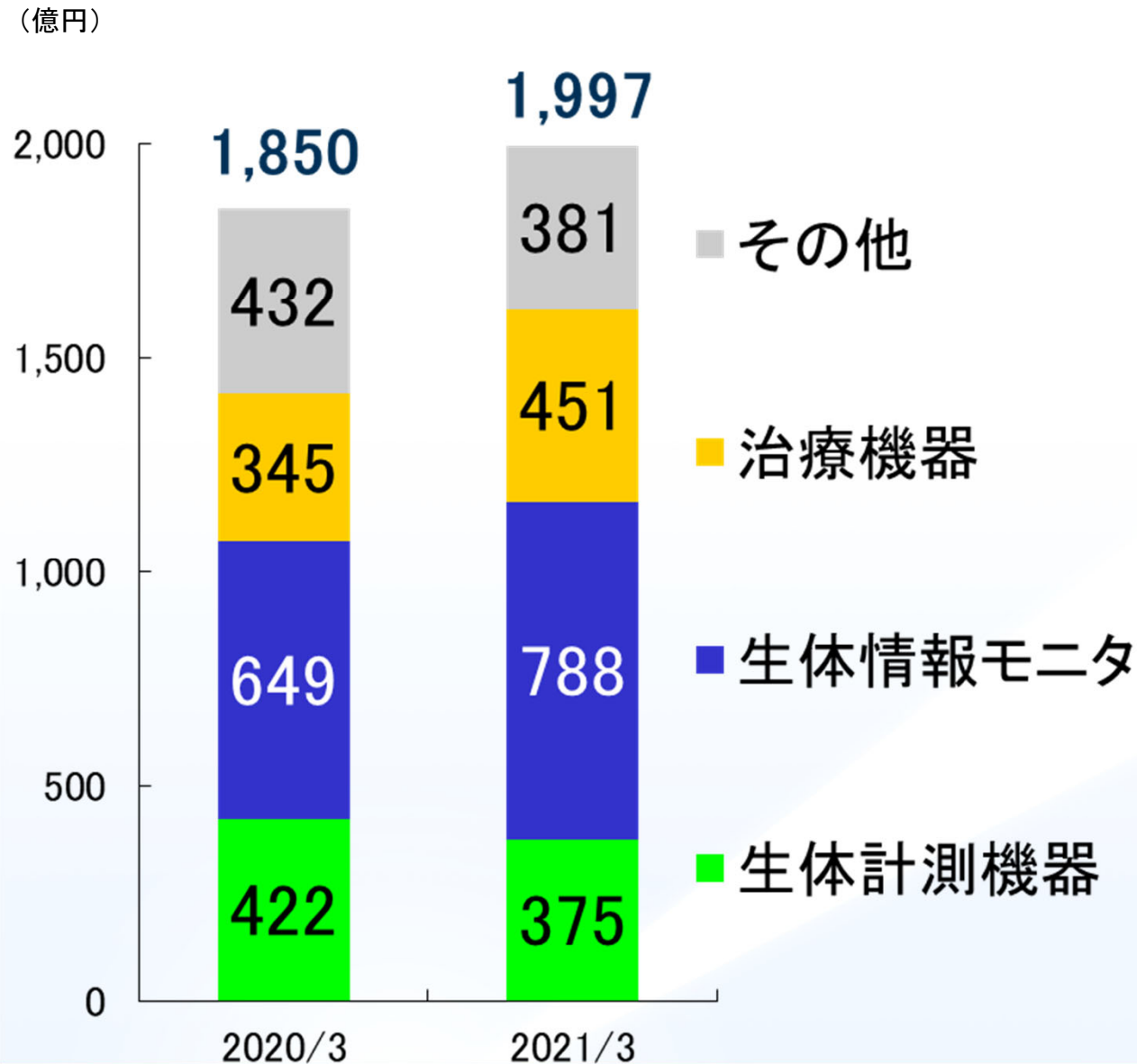
地域別構成比
(2020/3⇒2021/3)



6) 商品群別売上高

商品群別売上構成比

(2020/3⇒2021/3)



6.1) 生体計測機器

	前期 2020/3	当期 2021/3	増減率(%)
脳神経系群	7,564	6,546	△ 13.5
心電計群	6,661	6,542	△ 1.8
心臓カテーテル検査装置群	16,081	14,676	△ 8.7
その他(診断情報システム等)※	11,966	9,820	△ 17.9
生体計測機器合計	42,273	37,586	△ 11.1
うち国内売上高	33,207	29,555	△ 11.0
うち海外売上高	9,065	8,030	△ 11.4

(単位:百万円)

検査・手術の減少や予算執行の延期・凍結もあり、診断情報システム、心電計群、心臓カテーテル検査装置群が低調。脳神経系群は筋弛緩モニタリング専用の筋電図電極が増収となり、前期並みを確保。COVID-19軽症者対策のため、パルスオキシメータ、LAVITAの需要は増加。

脳神経系群が全ての地域で低調。心電計群は全ての地域で好調に推移。

※その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



脳波計
EEG-1290



筋電図・誘発電位
検査装置 MEB-9600



心電計
ECG-3350



ホルター心電計
RAC-5000



臨床用ポリグラフ
RMC-5000



医療介護ネットワーク
システム LAV-1000



筋弛緩 EMG電極
NM-34シリーズ

消耗品関連

6.2) 生体情報モニタ

	前期 2020/3	当期 2021/3	増減率(%)
生体情報モニタ合計	64,966	78,818	21.3
うち国内売上高	39,735	44,116	11.0
うち海外売上高	25,230	34,701	37.5

(単位:百万円)

年度末にかけてベッドサイドモニタ、送信機、医用テレメータの需要が急増。センサ類などの消耗品も好調に推移。

全ての地域で二桁成長。特に欧州、中南米が大幅に伸長。



CSM-1501 CSM-1502 CSM-1701 CSM-1702

ベッドサイドモニタ
CSM-1500/1700



ベッドサイドモニタ
PVM-4000



スポットチェックモニタ
SVM-7200

NEW!



医用テレメータ
WEP-1200

NEW!



esCCO対応
SpO₂プローブ



cap-ONE
マスク



心電図
電極

消耗品関連

6.3) 治療機器

(単位:百万円)

	前期 2020/3	当期 2021/3	増減率(%)
医科向け除細動器	6,276	7,647	21.8
A E D	15,495	14,841	△ 4.2
ペースメーカー・ICD	3,070	2,656	△ 13.5
人工呼吸器	3,553	13,950	292.6
その他	6,117	6,030	△ 1.4
治療機器合計	34,512	45,126	30.8
うち国内売上高	23,695	30,294	27.8
うち海外売上高	10,816	14,831	37.1

【国内】下期にかけて回復傾向。
【海外】全ての地域で大幅増収。

【国内】更新商談の受注もあり好調に推移。
【海外】全ての地域で低調。

【国内】年度末にかけて、自社製、ハミルトン社製ともに需要が拡大。
【海外】自社製人工呼吸器2機種が寄与し、一定の事業規模に成長。

(参考) AED販売台数	98,400台	87,900台	△ 10.7
うち国内販売台数	48,800台	56,900台	16.6



除細動器
EMS-1052



AED
AED-M100



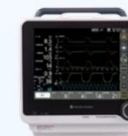
パルスチェッカー
PLS-1100



心臓ペースメーカー
Zenex MRI



人工呼吸器
NKV-550



人工呼吸器
NKV-330



人工呼吸器
HAMILTON-C6

6.4) その他

(単位:百万円)

	前期 2020/3	当期 2021/3	増減率(%)
検体検査装置	10,172	9,331	△ 8.3
画像診断装置、 研究用機器他 [※]	33,082	28,865	△ 12.7
その他合計	43,254	38,196	△ 11.7
うち国内売上高	37,716	33,307	△ 11.7
うち海外売上高	5,538	4,888	△ 11.7

自社品販売の注力により、現地仕入品が大幅減収。

需要・検査数の減少により、血球計数器・試薬が全ての地域で減収。

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

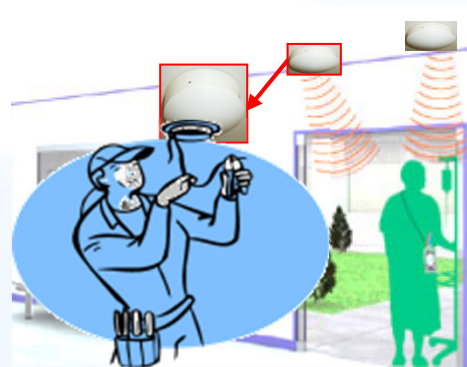


全自動血球計数器
MEK-9100

NEW!



全自動血球計数・
赤血球沈降速度測定装置
MEK-1305



設置工事・保守サービス

[参考]地域別商品群別売上高・対前期増減率

(単位:億円、単位未満切捨て)

	合計	国内	海外			
			計	米州	欧州	アジア州他
生体計測機器	375 (△11%)	295 (△11%)	80 (△11%)	33 (△19%)	13 (+6%)	32 (△9%)
生体情報モニタ	788 (+21%)	441 (+11%)	347 (+38%)	206 (+33%)	61 (+72%)	78 (+30%)
治療機器	451 (+31%)	302 (+28%)	148 (+37%)	53 (+30%)	46 (+46%)	48 (+37%)
その他	381 (△12%)	333 (△12%)	48 (△12%)	9 (△1%)	9 (△0%)	30 (△17%)
売上高合計	1,997 (+8%)	1,372 (+2%)	624 (+23%)	302 (+22%)	131 (+45%)	190 (+13%)

7) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 2020/3	当期末 2021/3	増減額		前期末 2020/3	当期末 2021/3	増減額
流動資産	129,020	156,140	27,120	流動負債	40,319	50,608	10,288
たな卸資産	29,249	38,887	9,637	有利子負債	350	350	—
有形固定資産	20,003	20,193	190	固定負債	5,692	3,436	△ 2,256
無形固定資産	4,149	2,329	△ 1,820	純資産	121,774	138,986	17,211
投資その他資産	14,612	14,366	△ 246				
資産合計	167,786	193,030	25,243	負債・純資産合計	167,786	193,030	25,243

たな卸資産回転月数	3.7ヵ月	4.8ヵ月		自己資本比率	72.6%	72.0%	
-----------	-------	-------	--	--------	-------	-------	--

【流動資産の増加の理由】

- ・ 営業活動による収入等から、現金および預金が増加 +96億円
- ・ 前期に比べて3月単月の売上高が大きかったこと等から、売掛金が増加 +77億円
- ・ COVID-19特需に対応するため、製品および部品在庫が増加 +96億円

【流動負債の増加の理由】

- ・ 未払法人税等が増加 +55億円

8) キャッシュフロー

	前期 2020/3	当期 2021/3	増減額
I 営業CF	9,217	13,945	4,728
II 投資CF	△ 4,607	△ 2,946	1,661
FCF	4,609	10,999	6,389
III 財務CF	△ 3,054	△ 3,007	46
換算差額	△ 339	451	791
増減額	1,215	8,442	7,227
期末残高	35,913	44,356	8,442

(単位:百万円)

	2020/3	2021/3	増減
税金等調整前当期純利益	13,980	27,166	+13,185
たな卸資産の増減額(増加:△)	△982	△9,313	△8,331

ROE	8.3%	14.0%	
-----	------	-------	--

9) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前期 2020/3	当期 2021/3			増減額 (年度比較)	次期計画 2022/3
		期初計画	前回計画※	実績		
設備投資額	3,549	3,900	3,900	3,524	△ 26	4,100
減価償却費	3,597	3,600	3,600	3,236	△ 361	3,800
研究開発費	6,731	7,000	7,200	6,357	△ 373	6,600

※2020/11/6 第2四半期決算発表時の予想数値

●設備投資の実績

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、IT投資、工場生産設備(需要の増加に伴う人工呼吸器2機種・生体情報モニタの生産増強を含む)

●2022/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、IT投資、工場生産設備

2

次期業績見通し

1) 経営環境

医療提供体制の重要性を再認識、ワクチン接種の進展・感染動向を注視

国内

患者の受診抑制が継続、医療機関の収益回復に時間がかかる見通し

感染対策の下、検査・手術を継続

- 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金(概ね2021年9月末まで)
- 診療報酬上の特例措置

医療機関の経営を下支え、感染症患者受入れのための医療提供体制整備

- 地域医療介護総合確保基金 2021年度1,179億円(医療)

海外

欧米諸国

- 医療のDXが加速
- ワクチン接種の進展により、新規感染は減少傾向、景気は緩やかに持ち直しの兆し

中国

- COVID-19収束により経済活動は正常化

新興国

- 一部地域で変異株の感染拡大、景気回復遅れの懸念

2) 次期業績見通し

	前期実績 2020/3	当期実績 2021/3	次期予想 2022/3	増減率 (%)	(単位:百万円)
売上高	185,007	199,727	185,500	△ 7.1	
国内売上高	134,355	137,274	128,000	△ 6.8	
海外売上高	50,651	62,452	57,500	△ 7.9	← 為替影響ほぼなし
売上総利益 (売上総利益率)	89,325 48.3%	102,233 51.2%	92,100 49.6%	△ 9.9	
営業利益 (営業利益率)	15,503 8.4%	27,094 13.6%	16,000 8.6%	△ 40.9	
経常利益	14,846	28,374	16,000	△ 43.6	
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,854	18,243	11,000	△ 39.7	
海外売上高比率	27.4%	31.3%	31.0%		

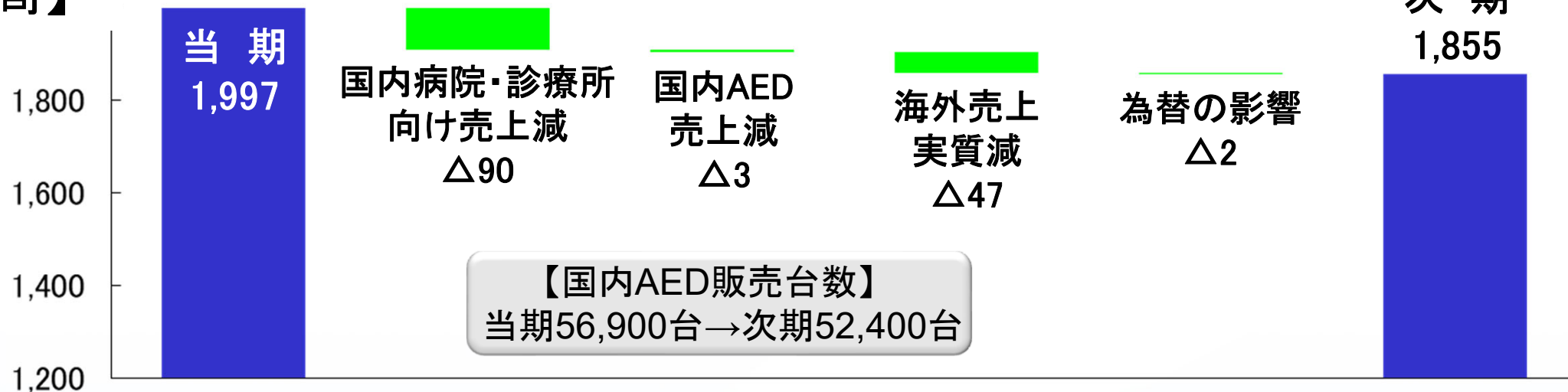
【地域別海外売上高】

	当期実績 2021/3	次期予想 2022/3	増減率(%)
米州	30,288	29,000	△ 4.3
欧州	13,139	9,500	△ 27.7
アジア州他	19,024	19,000	△ 0.1
海外計	62,452	57,500	△ 7.9

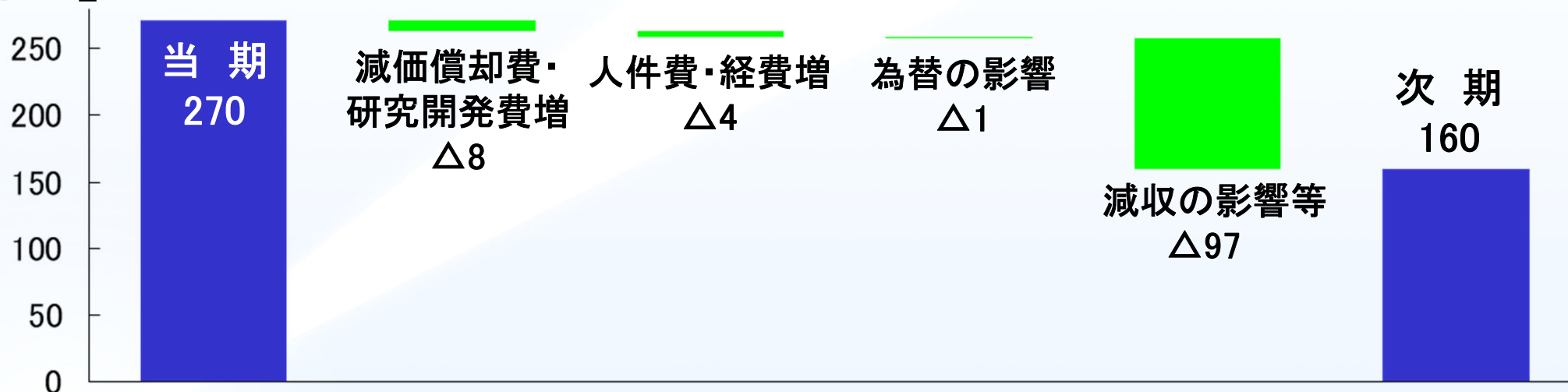
3) 次期業績見通しの要因分析

(単位: 億円)

【売上高】



【営業利益】



[参考]商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	当期実績	次期予想		増減率(%)
	2021/3	2022/3	構成比(%)	
生体計測機器	37,586	40,700	21.9	8.3
生体情報モニタ	78,818	70,900	38.2	△ 10.0
治療機器	45,126	36,100	19.5	△ 20.0
その他	38,196	37,800	20.4	△ 1.0
売上高合計	199,727	185,500	100.0	△ 7.1

(ご参考)

消耗品・保守サービス	85,890	87,200	47.0	1.5
------------	--------	--------	------	-----

平均レート

	当期実績 2021/3	次期予想 2022/3
1 米 ド ル	105.9円	105円
1 ュ ー ロ	123.1円	125円

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
1 米 ド ル	3.6億円	1.0億円
1 ュ ー ロ	0.6億円	0.2億円

3

当社の経営戦略

長期ビジョンと中期経営計画

病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に社員の豊かな生活を創造する

経営
理念



illuminating Medicine for Humanity

グローバルな医療課題の解決で、人と医療のより良い未来を創造する

2030年3月期
目標水準

営業利益率 15% 海外売上高比率 45%

長期ビジョン

2021/4-2024/3 **BEACON 2030** Phase III : 長期ビジョンの実現

2024/4-2027/3 **BEACON 2030** Phase II : 成長への投資

2027/4-2030/3 **BEACON 2030** Phase I : 基盤の強化

中期経営計画

グローバル共通価値基準

経営理念・長期ビジョン・中期経営計画の推進に必要な
世界中の社員をつなぐ共通の価値観

Integrity / Humbleness / Diversity / Initiative / Customer Centric / Goal Oriented / Creativity

中期経営計画 基本方針

事業と企業活動を通じてサステナビリティを推進

経営

コンプライアンスの徹底とグループガバナンスの一層の強化により、経営基盤を強化する。

事業

既存事業の収益性を改善することで得た原資により、戦略的な先行投資を実施し、新たな成長への種を蒔く。

組織

グローバルSCMの構築とコーポレートの主要機能の強化により、グローバル成長の礎を築く。

経営目標値(2024年3月期)

売上高	1,970億円
国内売上高	1,340億円
海外売上高 (海外売上高比率)	630億円 (32.0%)
消耗品・サービス売上高比率	48%以上
売上総利益率	50%以上
営業利益 (営業利益率)	200億円 (10.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	138億円
ROE	10%

地域別海外売上高

米州	320億円
欧州	100億円
アジア州他	210億円

3カ年計画

研究開発投資	200億円程度
設備投資	140億円程度

想定レート: 1米ドル=102円、1ユーロ=124円



マテリアリティとKPI



マテリアリティ

KPI

事業を通じて 解決を目指す課題	アクセシブル	AEDへのアクセス拡大による蘇生率の向上	累計/年間グローバルAED販売台数 日本・米国におけるAED利用率
	インテリジェント	新興国の医療従事者への教育機会の提供	インドネシアにおけるてんかん診療教育の推進 オンライン教育プログラムを含むセミナー開催回数、回数、受講者数
	患者視点	医療機器の自動制御	ロボット麻酔システムへの研究開発投資 人工呼吸器のクローズドループ制御への研究開発投資
		患者さんにやさしいセンサの開発・提供	新規センサへの研究開発投資 esCCO、導出18誘導心電図、iNIBP搭載機種販売台数
	コネクテッド	アラーム高度化による静かな医療環境	アラーム高精度検出技術への研究開発投資 アラームレポートの活用により運用が改善した医療機関数（日本・米国）
		心不全や脳疾患感染症ケアへの貢献	病状悪化の早期警告スコアへの研究開発投資 心不全ケアに向けた新規パラメータとアルゴリズムへの研究開発投資
	最適化	遠隔監視を用いた製品稼働率向上	MD Linkage接続機種・台数 機器トラブルの事前通知件数
テレメディスンによる医療格差の解消		LAVITA等ネットワーク対応型製品の設置台数 集中治療の遠隔支援実現に向けた研究開発投資	

AED
販売台数: 35万台以上
(国内・海外、3年間累計)

MD Linkage
接続機種数: 7機種以上
接続台数: 5,000台以上
(国内・海外、3年間累計)

企業活動を通じて 解決を目指す課題	人権・人財	医療への貢献にやりがいと誇りを持てる組織風土の醸成	従業員満足度 グローバルに活躍できる人財の育成
	品質	バリューチェーン全体で世界最高品質を追求	ネットプロモータスコア リコール件数
	ガバナンス	コンプライアンスの徹底とグループガバナンスの一層の強化	グループ全体でのコンプライアンス・プログラムの運用確立と強化 グローバル経営管理ポリシーの確立と海外拠点への浸透 国内販売における内部統制システムの強化
	環境	脱炭素社会の実現に貢献	CO ₂ 排出量 環境配慮型製品の機種数、該当製品売上比率 製品・部品の廃棄量

CO₂ 排出量(売上原単位)
2020年度比: 15.2%減
(2023年度)
※ ISO 14001適応範囲内のScope 1, 2

環境配慮型製品売上比率:
20%以上
(3年間累計)

サステナビリティ推進体制を強化

2021年度設置予定

アドバイザー ボード

- 社外の視点を反映するため、経営層に助言
- 社外有識者3名程度を予定

助言

取締役会・経営会議

サステナビリティ推進委員会

- 社長をはじめとする
執行役員・部門長で構成
- 基本方針の立案
- 課題の把握、対応策の協議
- KPIの検討・立案

連携

コンプライアンス
委員会

品質
管理
委員会

環境
委員会

サステナビリティ推進会議

- 年間計画の策定と推進
- 研修、啓発

事業部門・子会社

- 年間計画の実施と進捗管理
- 研修、啓発

ガバナンスの強化・ダイバーシティの推進

ガバナンス体制

- 2016年6月 監査等委員会設置会社に移行
指名・報酬委員会を設置
- 2018年6月 独立社外取締役比率3分の1
- 2020年6月 女性社外取締役1名を選任
- 2021年4月 女性執行役員2名が就任

取締役会

社内取締役 8名 & 社外取締役 4名



常勤 1名
&
社外 2名

諮問

提案

指名・報酬委員会

委員長: 社外取締役
委員: 社外取締役 4名

執行役員

23名中2名が女性

全ての社員の多様性を尊重

<2020年度実績>

- 女性管理職比率: 7.6%
- 男性育休取得率: 9.3%

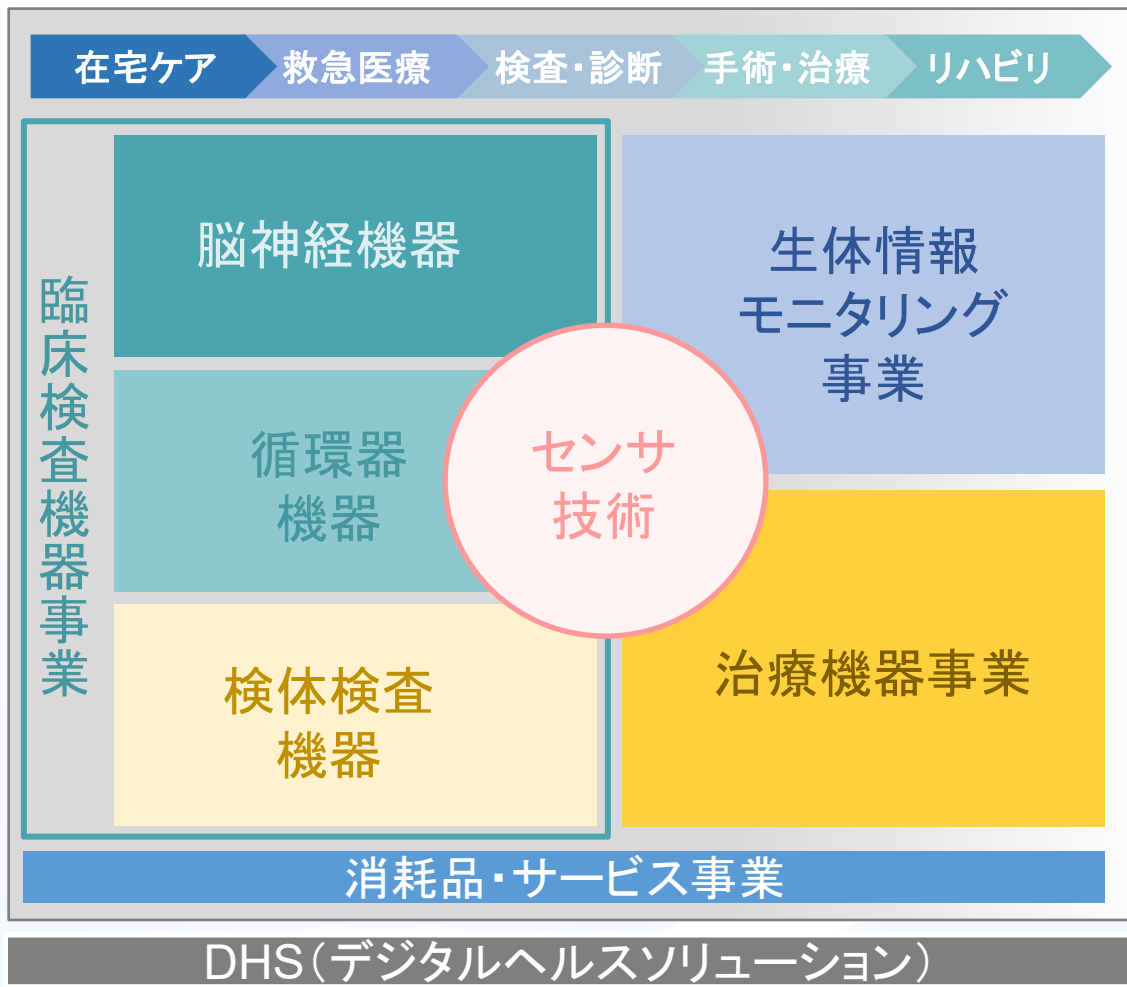
<目標>

- 2026年4月1日付
女性管理職比率12%以上
- 2025年度まで
男性育休取得率30%以上



※単体ベース

既存事業における収益性の改善



全事業共通施策

高い顧客価値の創造

- ・デジタルヘルスの推進
- ・サイバーセキュリティ対応
- ・医療機器リモート監視システム (MD Linkage) の拡充

生産性の向上

- ・新たな共通設計プラットフォームの構築
- ・標準化・共通化の推進
- ・ライフサイクルマネジメントの徹底

タイムリーな製品投入

- ・世界最高品質の追求
- ・開発体制、QA/RA体制の強化

高収益体質の実現

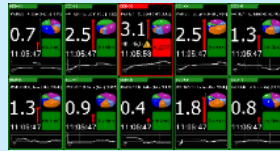
生体情報モニタリング事業

✓ 製品ラインアップの拡充、機能強化による顧客価値提案の推進

一般病棟

ICU

手術室



早期警告スコアの
臨床評価
2021年度国内開始予定

バイタルサイン統合指標ソフトウェア



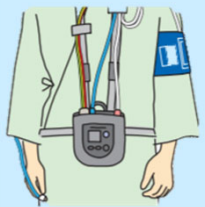
セントラルモニタ
2021年度国内発売予定



ハイ
エンド

ミドル
レンジ

ロー
エンド



NEW!



WEP-1200
2020年度
国内発売



WEP-1400



PVM-4000



BSM-3000



GZ-130P



GZ-140P



ZS-630P ZS-640P



SVM-7200



SVM-7500



CSM-1501



CSM-1502



CSM-1701



CSM-1702



CSM-1901



BSM-1700



BSM-1700

サイバーセキュリティ強化
2021年度予定



院内・院外

ViTrac

治療機器事業

人工呼吸器

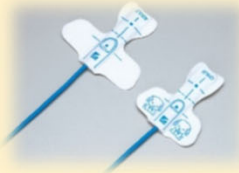
- ✓ 保守点検契約の獲得強化
定期交換部品とパッケージ化

Protective Control™



気管挿管型
人工呼吸器
NKV-550

- ✓ ディスポーザブル消耗品の拡販



SpO₂プローブ



NPPV※
cap-ONEマスク



マスク型
人工呼吸器
NKV-330

救急蘇生機器

- ✓ 海外プレホスピタル事業の強化



救急車搭載除細動器
EMS-1052



医療従事者の
感染リスクを低減



ビデオ硬性挿管用喉頭鏡
エアウェイスコープ
AWS-S200



次世代自動心臓
マッサージ装置
2021年度発売予定

※ NPPV(Noninvasive Positive Pressure Ventilation): 非侵襲的陽圧換気。気管内挿管や 気管切開を行わない人工呼吸管理。

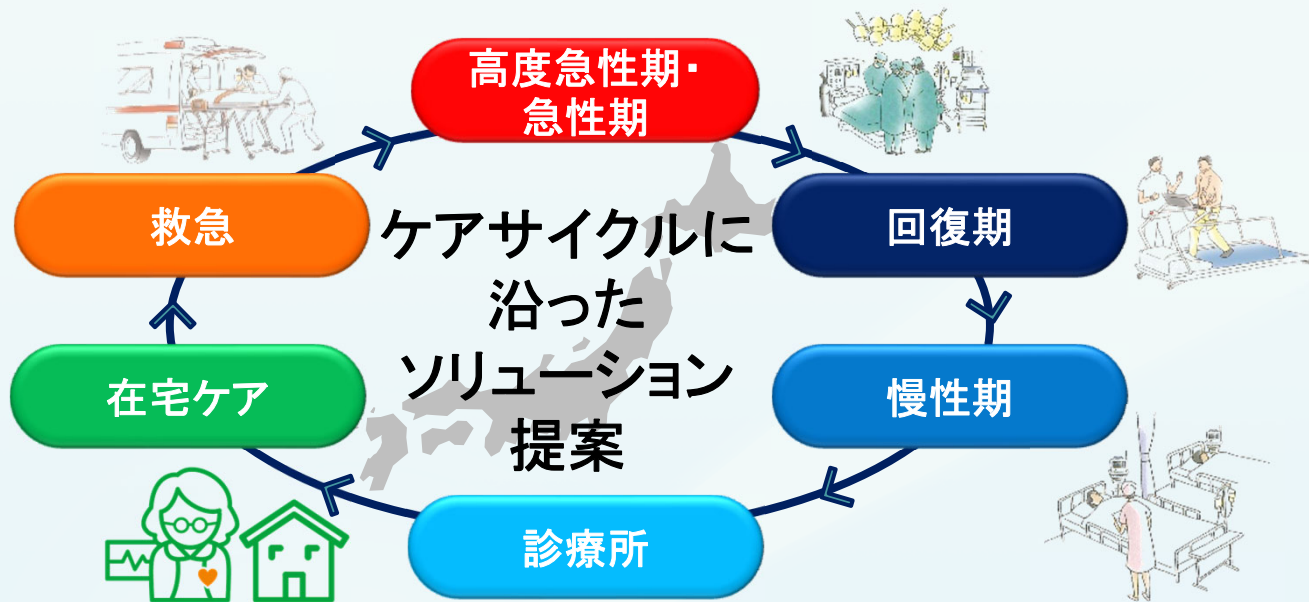
グローバル事業における戦略強化

日本：医療の質向上、医療課題の解決に向けたソリューション提案を強化

✓ 顧客価値提案の強化

医療安全 診療実績 業務効率 につながる

提案営業力の強化、サービスの拡充



- 生体情報モニタの付加価値を強化
手術前後の筋弛緩モニタリングの需要が高まっていることから、提案強化

NEW!



筋弛緩表示ユニット
2020年度国内発売



筋弛緩 EMG電極
NM-34シリーズ

- 医療機器リモート監視システムと人工呼吸器のテスト連携を開始



人工呼吸器
NKV-330

MD Linkage

米国：子会社6社の統合と融合による米国事業のさらなる成長

✓ 製品ラインアップの拡充



生体情報モニタ



中位機種ベッドサイドモニタ
CSM-1500/1700シリーズ
2021年度下期発売予定

救急蘇生機器



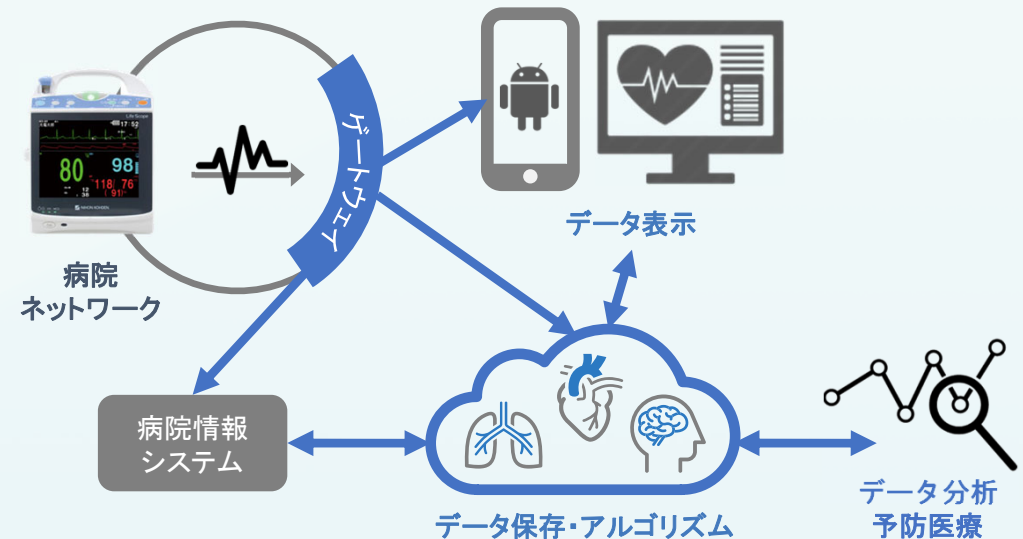
NEW!
エアウェイスコープ
NK AWS-S200
2020年度発売

次世代自動心臓
マッサージ装置
2021年度発売予定

NEW!

✓ 新たなデジタルヘルスソリューション **NK Data Platform**の パイロット運用開始

- 生体情報モニタや人工呼吸器等の数値、波形、アラーム情報を保存・表示



2021年4月1日
NKUSラボは日本光電デジタルヘルスソリューションズに社名変更

新興国：日本・米国製、上海製の新製品の提案を強化

日本・米国製品

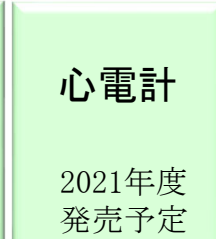
ハイエンド市場



上海製品

ミドル&ローエンド市場

現地開発・生産



検体検査装置

✓ 新製品を相次ぎ投入



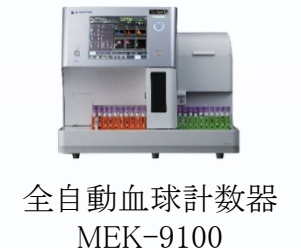
網赤血球
測定付き
血球計数器

2021年度上期
発売予定

✓ ドバイ試薬工場 生産開始 2021年4月



✓ 上海生産品の 拡充 2021年度予定



※ ESR (Erythrocyte Sedimentation Rate) : 赤血球沈降速度。沈降速度が速いと結核等の感染症の可能性。主に新興国で測定されている項目。

利益配分の基本方針

利益配分の優先順位は、①将来の企業成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

将来の企業成長
に向けた投資

- ・ デジタルヘルスソリューションを新規事業と位置付けて積極投資
- ・ コーポレートDX推進、グローバルSCM構築のための設備投資

研究
開発



設備
投資



M&A
提携



人財
育成



配当

長期安定配当を
継続

目標:連結配当性向
30%以上

自己株式取得

今後の事業展開、投資計画、内部留保の水準、株価の推移等を総合的に考慮し、機動的に検討

21/3期

年間配当金: 55円(特別配当20円を含む) (配当性向: 25.7%)
自己株式取得: 15億円(上限) 5/14~6/30 (総還元性向: 33.9%)(予定)

22/3期
(予想)

年間配当金: 39円
(配当性向: 30.2%)

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営戦略統括部

【連絡先】 TEL03-5996-8003